

広東省のセキショクヤケイ個体群、個体数、分布および 生息地における現状の基礎的調査

呉詩宝¹・袁喜才²・柯亜永³・陳海⁴

1 湛江師範学院生物系, 2 華南瀕危動物研究所,

3 中山大学生命科学院, 4 茂名市林業局

訳 福井和二

摘要 広東省におけるセキショクヤケイの生息地分布は徐聞, 雷州, 信宜, 高州, 陽春の5ヶ県市で, 3ヶ所に孤立して島状に分布し, その総面積2501.62km², 総個体数680~750羽と言われている。セキショクヤケイの最も多い生息地は信宜, 高州, 陽春を結ぶ地域で, 広東省における最も主要な生息, 分布地である。

広東省のセキショクヤケイはヤケイ属, 海南亜種 (*Gallus gallus jabouillei*)^{1)~3)}である。筆者は1998年8月から2000年10月の間, 広東省におけるセキショクヤケイの分布, 個体数, 生息地の現状等について調査研究を行なった。

1. 自然概況

広東省は我が国の最南部に位置する省で, 北に山嶺をひかえ, 南は熱帯性海洋に臨み, 省の中央を北回帰線が走る, 北緯20° 09' ~25° 31', 東経109° 45' ~117° 20' の間にあり, 全省の35.3%が標高500m以上の山地で占められ, その山地は西部, 北部, 東部に広がる。西部山地は陽江の東にある天露山(1254m)と西側の雲開大山(1704m), 大雲霧山(1140m)である。台地は雷州半島の13.7%の面積を占め, 丘陵の主要部分は広東省東南地区は27.4%を占める。南から北へ北熱帯, 南亜熱帯, 中亜熱帯と3つの気候帯からなり, 夏が長く冬は温暖, 最も寒い1月の平均気温は9.3~15.1°Cで, 最も暑い7月の平均気温は26~29°Cである。植物の主なものには熱帯, 亜熱帯種に属するもので, 木本植物の多くは常緑広葉樹, 亜熱帯多降雨型の本省中部と北部に亜熱帯常緑広葉樹林が分布している。

2. 調査方法

セキショクヤケイが生息していると思われる地域を無作為に164個所のコースを設定し, 距離5000m, 幅120mのロードセンサスを行なった。その内訳は, 湛江市の徐聞が7個所, 雷州が13個所, 遂溪が7個所, 吳川が5個所, 廉江が18個所, 茂名市の信宜が33個所, 高州が19個所, 化州が11個所, 電白が6個所, 陽江市の陽春が31個所, 陽東が10個所, 陽西が4個所である。調査実施時, 数については, 1) 目撃した実数, 2) 地面を掻いた痕跡, 3) 鳴き声, 雌雄, 幼成鳥の区別等により識別した。

県の部所で, 以下の公式を以て処理した; $d_i = n_i / l_i s_i$ 。式中 d_i はロードセンサスによるセキショクヤケイ密度, n_i はロードセンサスによるセキショクヤケイの数量, l_i と s_i は区間の長さおよび広さ。毎ロードセンサスのセキショクヤケイの密度をサンプルとして, 平均密度は $D = 1/m \sum d_i$, 標準差 $\delta = (1/m \sum d_i^2 - D^2)^{1/2}$, D の区間推計は $D \pm t_{\alpha, m-1} \delta / (m-1)^{1/2}$, この中の $\alpha = 0.2$, m は各県のセンサス数, 区間密度推計値に, 各県のセキショクヤケイ生息地面積を掛けたものが各県のセキショクヤケイの総個体数となる。

実際に訪れたセキショクヤケイの棲息地をGPSおよび地図上に示した後, 最も外縁にあたる地点を線で囲み, 分布地として面積を算出した。

3. 結果および分析

3.1 湛江におけるセキショクヤケイの分布、個体数および生息地の状況 湛江, 又の名は雷州半島, 管轄下の徐聞, 雷州, 遂溪, 廉江, 吳川の5个県市をいう。そのセキショクヤケイの分布は, 早くは1962年, 中山大学生物学科の周宇垣先生がすでに報告しており¹⁴⁾, 1989年《広東山区経済動物志》の中に“広東省原鷄分布在雷州半島”の記述がある。

今回の調査は雷州半島に広範に分布しているセキショクヤケイの生息地が現在わずかに雷州, 徐聞のわずかな地域に棲息し, その棲息面積はただだ120.00km²と14.25km²に限られ, その個体数も約25~35羽と5~15羽以内といわれている。現場をくまなく調査したが, 形跡も見られなかった所もあり, 非常に減少していることが明らかとなった。聴き取り調査でわかったことは, 徐聞で最も遅くまで見られたのは1989年, 場所は本県の北部高地石板嶺(258m)で, その後十数年, 全く見かけた人がなく, 徐聞県ではセキショクヤケイは絶滅したと思われる。雷州におけるセキショクヤケイの主要な分布は紀家, 唐家, 楊家, 龍門, 北和, 企水などの県・鎮の範囲である。雷州半島の他の県(市), 吳川, 遂溪, 廉江などの地域では発見されていない。だいたい1980年前後に絶滅したことが, この地を訪ねて明らかになった。雷州半島のセキショクヤケイの現在の結果を招いた原因は, (1) 乱開発, 森林破壊によるセキショクヤケイの生息地の喪失。1950年代後期に大規模な開墾が行われ, ごく限られた場所に保護林として残され, 小面積の自然林をたまたま見ることができた程度である。徐聞県では, 解放初期に6.93×10⁴ hm²の広葉樹・灌木の自然林があり, 雷州半島最大の熱帯雨林が残っており, それがセキショクヤケイの重要な生息地となっていたが, 1956年にはこの森林が1×10⁴ hm²となり, 現在ではたったの6.67hm²となってしまった。雷州には元々1×10⁴ hm²の広葉林があり, 西南部の嘉山嶺から北一帯に0.2×10⁴ hm²の有名なクスノキ林があったが, 現在はわずかに龍門県足榮村に県有林で防風・水源林として貸与民営のものが73.3hm²残っているのみである。(2) 乱獲。もともと, この半島の村人たちは古くから鳥獣の狩猟を家計の一助としていた。しかし, 野鳥の市場が各所に増えてくると, 取り引きされる野鳥の数も千を超え万に至るようになり, 1999年, 湛江南華市場で取引された鳥類は30種以上であった。

3.2 茂名・陽江両市のセキショクヤケイの分布と生息数, 生息状況。茂名と陽江は今回の調査で新しく発見された, 広東省におけるセキショクヤケイの分布地である。茂名の管轄下に信宜, 高州, 電白, 化州の4県(市)があり, その内電白, 化州にはセキショクヤケイは分布しておらず, 信宜県における主要な分布は信宜県域内の雲開大山脈と春陽県域内の雲霧山脈の間に挟まれた, 径口, 旺沙, 平塘, 合水, 大成の諸県鎮を結ぶ範囲内で, 生息地の面積は約1624.47km²で, 総個体数400~420羽である。高州における主要分布域は大潮, 深鎮, 馬貴の3県鎮を結び信宜市に接する地域で, 生息地面積は109.2km², 個体数約5~15羽。陽江管轄下の陽春, 陽東, 陽西の3県(市)のうち, 陽東, 陽西にはセキショクヤケイは分布しておらず, 陽春での主要な分布地は河郷, 合水, 圭崗, 永寧の諸県鎮を結び, 茂名, 信宜と接する範囲内に分布し, 面積633.33km², 総個体数約245~263羽が生息する。茂名, 陽江両地域のセキショクヤケイは交流連絡しており, この分布区域内には大霧嶺と百涌, 2つの省級自然保護区があり, 保護区の総面積72.65km²でセキショクヤケイの天然の避難場所となっている。

4. 結論

広東省のセキショクヤケイが分布している地域は, 湛江を北縁とした北熱帯区と南亜熱帯区に属する茂名と陽江で, さらに, 江門, 雲浮を超えない地域, だいたい東経109° 52' 40" ~

111° 54' 11" , 北緯 20° 32' 12" 22° 33' 33" の範囲で(図 1), すなわち, 粵西地区である。記録では, セキショクヤケイが生息するこれらの地域の環境は標高 40~1475m の高山, 丘陵地帯で, 竹林, 常緑広葉樹林, 低木疎林, 灌木林およびそれらの林縁地域である。生息地は 5 个县(市)で徐聞, 雷州, 信宜, 高州, 陽春など, 3カ所に島状に分布している(図 1)。総面積は 2501.62km², 総個体数 680~750 羽である(表 1)。分布は広範囲であるが雷州半島のセキショクヤケイの現状は雷州に少数生息し, 徐聞では絶滅に瀕しており, 絶望的である。最も個体数が多く, 生息面積が広く纏まっているのは信宜, 高州, 陽春の 3カ所で, 小さな生息地が組み合わさって成り立っており, これが広東省における主要な生息地である。

5. 広東省におけるセキショクヤケイの保護について

徐聞および雷州のセキショクヤケイの個体群は最も少なく 50 羽ほどで, 最少生存数(MVP) 500 羽を遙に下回っており, 遠からず絶滅する

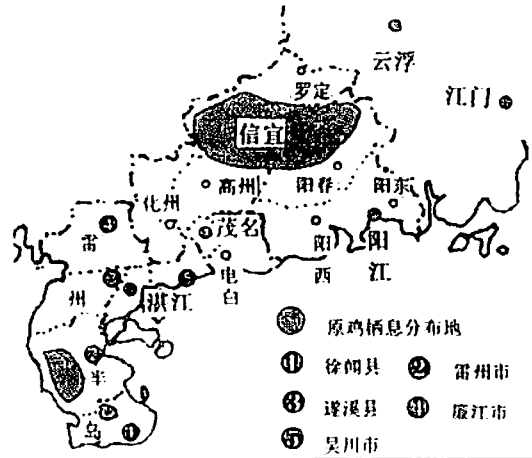


図 1 広東省のセキショクヤケイ分布図

表 1 広東省におけるセキショクヤケイの分布, 個体数および生息地面積

分布地	湛江市		茂名市		陽江市	合計
	徐聞	雷州	信宜	高州	陽春	
個体群(羽)	5~15	25~35	400~420	5~15	245~265	680~750
生息地面積(km ²)	14.29	120.00	1624.47	109.2	633.66	2501.62
密度(羽/km ²)	0.70	0.25	0.25	0.09	0.40	—

ものと見られている。信宜, 高州および陽春の個体数は 650~700 羽と推計され, かりうじて最少生存数(MVP)500 羽の線を維持しているに過ぎない。広東省のセキショクヤケイの生息地は絶えず環境破壊と密猟に曝されている。セキショクヤケイに対する保護意識は低く, 広東省全域におけるセキショクヤケイの絶滅の可能性は高い。広東省におけるセキショクヤケイの保護対策を以下のように提案する。

- 1) 各クラスの野生動物行政主管部門はセキショクヤケイの現状を調査し, 合理的な保護対策を打ち出し, セキショクヤケイに対する意識向上策を強化しなければならない。
- 2) セキショクヤケイの保護に対する宣伝を強化し, 密猟と生息地崩壊をまねく環境破壊に対しては厳格に法の執行を行なう。
- 3) 信宜, 高州, 陽春の 3 县(市)のセキショクヤケイ生息地に対しては重点的に保護対策を行う。
- 4) セキショクヤケイ生息地のある县(市)および自然保護区は重要な保護作業の日程を議論し, 対策を進める。

謝辞 吳毅教授に校閲と貴重な意見をいただいたこと, あわせて, 湛江, 茂名, 陽江, 雷州の各林業局その他調査に参加いただいた人々に謝意を表する。

訳注 *1 粵は広東省の旧称。